2026年10月29日
大東ガス株式会社

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について
（2026年12月検針分）

大東ガス株式会社は、「原料費調整制度」よる2026年７月～９月の平均原料価格に基づき、2026年12月検針分の単位料金を2026年11月検針分に比べ、1㎥当たり +8.73円（税込み）調整させていただきます。

これにより、１か月に29㎥のガスをお使いになる標準家庭で、7,325円（税込み）となり、2026年11月検針分に比較して、253円（税込み）ガス料金が上がります。

2026年12月検針分に適用するガス料金につきましては、当社の本社や営業所の店頭での掲示や11月の検針票であらかじめお客さまにお知らせいたします。

■一般ガス供給約款料金表　（税込）

	１か月の ご使用量	基本料金 （円/件･月）	適用単位料金		基準単位料金 （円/㎥）
			2026年12月 （円/㎥）	2026年11月 （円/㎥）	
料金表Ａ	0㎥から 20㎥まで	1,239.70	217.45	208.72	162.93
料金表Ｂ	20㎥をこえ 80㎥まで	1,729.20	192.97	184.24	138.45
料金表Ｃ	80㎥をこえ 200㎥まで	2,191.20	187.20	178.47	132.68
料金表Ｄ	200㎥をこえ 500㎥まで	3,419.53	181.05	172.32	126.53
料金表Ｅ	500㎥をこえ 800㎥まで	5,904.72	176.08	167.35	121.56
料金表Ｆ	800㎥を こえるもの	10,728.43	170.05	161.32	115.53

■平均原料価格･原料価格変動額･基準単位料金単価調整額

		2026年７月 ～９月	2026年６月 ～８月	基準平均 原料価格
平均原料価格（円/ｔ）		117,370	107,640	56,160
	ＬＮＧ平均価格（円/ｔ）	116,780	106,660	---
	ＬＰＧ平均価格（円/ｔ）	113,870	119,700	---
原料価格変動額（円/ｔ）		+61,200	+51,400	---
単位料金調整額（円/㎥）		+54.52	+45.79	---

＊LNG平均価格、LPG平均価格は、ともに貿易統計値。

■標準家庭における影響　（税込）

１か月のご使用量 29㎥	適　用　料　金		増減
	2026年12月	2026年11月	
ガス料金（円/月）	7,325	7,072	＋253
差額	0	0	---

＊標準家庭ガス料金は、ご家庭1件あたり平均使用量／月（2018年～2022年の5か年平均）にもとづき算定しています。

＜参考＞

■原料費調整制度の概要

＊為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス１㎥当たりの単価)を調整する制度です。これにより、使用量が同じ場合でも原料価格の上昇時にはガス料金が高くなり、下落時には安くなります。
＊「基準平均原料価格(56,160円/ｔ)」と「平均原料価格(料金適用月の５か月前から３か月前の３か月平均におけるＬＮＧ、ＬＰＧの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動１００円につき、ガス１㎥当たり0.0891円(0.081円に1.1(消費税)を乗じた値)単位料金が調整されます。
＊原料価格の変動については、ＬＮＧ、ＬＰＧとも貿易統計実績によります。
＊原料費調整における平均原料価格の上限については、設定しておりません。

■単位料金調整額の算定方法(2026年12月検針分)

・平均原料価格の算定

ＬＮＧ平均価格(貿易統計値)	116,780円/t × 0.9088	
＋ ＬＰＧ平均価格(貿易統計値)	113,870円/t × 0.0987	
	117,368.633	
	↓	(10円未満四捨五入)
	117,370円/t	

・原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 56,160円/ｔからの変動額)

117,370円/t － 56,160円/t ＝	61,210円/t	
	↓	(100円未満切捨て)
	61,200円/t	

・単位料金調整額(１㎥当たり調整額)の算定

単位料金調整額 ＝ +61,200円/t÷100円×0.0891＝ +54.52円 (小数点第３位以下切捨て)